

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市市営駐車場
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北5 2 0 名 称 一般財団法人津山市都市整備公社 代表者 理事長 谷口 智
(3) 公の施設の所管部署	都市建設部都市計画課
(4) 指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日
(5) 評価対象期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	○津山駅前駐車場 40,270 台 (前年度 41,271 台) 〃 駐輪場 1,929 台 (前年度 1,740 台) ○城下駐車場 40,939 台 (前年度 43,051 台)
(2) 事業の内容	○津山駅前駐車場 ・駐輪マナー指導 (4/27) ・駐輪場 防犯カメラ・路面ステッカー設置 (6/5) ・放置自転車撤去 年2回 (7/8 , 12/8) ・花壇・プランター植栽 年3回 (6/25 , 10/30 , 12/17) ・駐輪場 防犯カメラ・録画装置設置 (2/3) (津山警察署管内職域防犯組合連合会より寄贈) ・駐車場内区画線施工に伴う車両整理 (2/27～2/28) ・清算機の点検、清掃等の日常業務 ・トラブル対応 ○城下駐車場 ・夜間料金体系導入の試行 (8/1～9/30) ・夜間料金体系の導入 (10/1～) ・清算機の点検、清掃等の日常業務 ・トラブル対応

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 29,823千円(前年度29,567千円) 利用料金収入 29,822千円 その他の収入 1千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 29,823千円(前年度29,684千円) 主な支出 人件費 1,564千円 需用費(駐車券印刷代他) 977千円 役務費(電話料金、管理賠償責任保険ほか) 187千円 委託料(夜間警備、管理委託費) 1,863千円 使用料及び賃借料 1,741千円 負担金 22,000千円 租税公課 149千円 管理費(事務経費) 1,342千円

4 総合評価結果

(1) 指定管理者の自己評価	・津山駅前駐車場では、近隣の高校生や先生、ＪＲ職員等と協力して駐車場の自転車撤去を実施し、また、定期的に花壇やプランターの植栽を行って津山駅周辺環境の美化に努めた。 - また、津山駅並びに駅周辺施設利用者の利便性と駅周辺地区の活性化や賑わいの創出を図るため利用料金の改定を提案している。 ・城下駐車場では、利用者の増加と利便性の向上を図るため、19:00～9:00まで一律500円の夜間料金を提案し、2カ月の試行期間を経て本格導入を開始した。 ・駐車場運営では、約40年に及ぶ駐車場運営実績に基づき利用者の利便性向上を図るとともに諸経費の削減を行った。平成22年度に当公社の負担で導入した駐車場管理システムに、パソコンや携帯電話からアクセスできるよう改修し、利用者がリアルタイムで各駐車場の空き台数を把握できるようになり好評を得ている。 ・指定管理者業務については事業実施計画書に沿って実施し、津山駅周辺や中心市街地の活性化と利用者の利便性向上を最優先にし
----------------	--

	た適正かつ良好な業務であったと自己評価する。
(2) 市の評価	・ 津山駅前駐車場については、利用者の利便性の向上のため駐車場の空き情報をパソコンや携帯電話で確認できるようシステムを整備したことや、防犯カメラを増設するなど、駐車場の適切な管理運営に対する自主的な取り組みは非常に評価できる。 - また、「まちづくりの視点」から駅周辺地区の活性化に寄与するよう料金体系の改定を提案するなど、駅前駐車場のありかたについてもよく検討している。 ・ 駐輪場については、駐輪マナーの啓発活動や放置自転車の撤去活動を積極的に実施しており、自転車の快適な駐輪対策としての自主的な努力は非常に評価できる。 ・ 駐車場の利用状況は、利用台数は減少したものの利用料金収入は微増となっており、今後も引き続き利用者の利便性の向上や更なる事務経費の削減に努め、施設の良好な管理運営を望む。 ・ 城下駐車場については、課題であった稼働率の低い夜間の利用促進対策の取組みとして、一律500円の夜間料金を導入した。利用状況についても、利用台数は減少したものの利用料金収入は増収となったことから一定の効果があったものと評価している。 - 今後も利用者の利便性の向上や事務経費の削減に努めるとともに、更なる利用促進の取組みを実施するよう望む。 ・ 全般的な駐車場の施設管理状況については、事業実施計画書に基づき適正に実施されており、トラブル等への対応も迅速に行われている。また、毎月提出する業務報告書も遅滞なく提出され作業内容や利用状況等についても確認ができています。